

令和6年度 中学校教育研究会 あさひのプロジェクト 授業の様子

単元名・学年	これからの社会を生きる私・3年	担当者	佐々木清花 木内浩司
キーワード	#自己の生き方 #探究 #キャリア #ニーズ #自分の強み・特徴 #社会貢献 #ポスターセッション #販売・宣伝・体験 #情報収集		

【本時の様子】

3学年では、単元「これからの社会を生きる私」で生き生きと活動する生徒の姿を参観していただけたことは、参会者にとっても本校のカリキュラムがどのようなものであるか、興味をもっていただくきっかけになったと感じました。

当日は、三つのブースを設置しました。①ポスターセッションで参会者とやりとりするブース②販売・宣伝・体験活動を行うブース③試食提供のブースの三つです。

①のブースでは、自分たちの活動について具体物を用いて説明したり、参会者の先生方の質問に答えたりすることに加えて、自分たちの活動の評価をいただいたりする姿が見られました。



②のブースでは、参会者に商品を販売したり、自分たちの活動で学んだことを伝えたりするなど、体験型の活動を行いました。



③のブースでは、試食提供を行う中で、自分たちの取組についての評価をアンケートでいただくなど、今後の活動の情報収集を積極的に行いました。



参会者からは、「あさひのプロジェクトでも、生徒たちが一生懸命に発表したり課題に向き合っていたりと、先生たちを頼らず、自分たちで運営している姿がよかったです。」とご感想をいただきました。

今後は、①②③で得られた情報をチームに持ち帰り、活動の振り返り、まとめを行っていきます。そして、卒業に向けて、3年間を通して考えてきた『大切にしたい生き方』について立ち返り、中学校の総合的な学習の時間を終えていきます。

生徒にとって、今後の人生において、自己の生き方を考える手立てとなれるような単元としていきたいと思ひます。

Let's Joyama

活動目的 城山動物園とその周辺の活性化をすること。



活動概要 地域活性化することで社会貢献したいと考え、動物に興味関心があったり、デザインが得意であったりする私たちは、城山動物園にご協力いただき、フォトコンテストを企画運営しています。



キーワード #地域貢献 #城山動物園

【今年度の研究紀要に掲載したチーム紹介（一部）】

Let's JOYAMA

活動目的 城山動物園周辺を盛り上げることで人と動物が生きやすい社会をつくる

活動内容 イベント「ずーふぉと」の計画と開催
城山動物園への奉仕活動

活動人数 5人

H.Wでの活動

城山動物園の池の清掃活動 ずーふぉとにもけたミーティング

「ずーふぉと」での活動

目的 私たちのビジョンは、フォトコンテストを行うことで、若者を中心とした来場者が増え城山動物園が活性化すること。

現状 動物園は幼児、主婦層の方で家族連れの来園者が多い。そんな中で城山動物園を全国的に広め、中高生の来園者数を増やしたい。そのため10-20代をターゲットにし、インターネットを活用したフォトコンテストが有効であると考える。

ポイント

- SNSを活用したことで従来よりも情報が伝播する
- スマホでの撮影が中心だから参加しやすい
- 小中学校、高等学校にポスターを配布することで10代の参加が見込める

これからの活動
城山動物園の広報活動

総合的災害被害対策本部
Comprehensive Disaster Damage Control Headquarters

啓発隊

Enlightenment Team

防犯活動の歩み

- 1 長野中央警察署さんとの防犯活動**
 - ① 自転車盗難防止活動**
 - ② お祭りでの防犯うちわ配り**
- 2 詐欺被害の実態調査**

被害者数
約 20,000
約 40,000
約 60,000
約 80,000
約 100,000

- 3 高齢者向け特殊詐欺体験会 with ながの男の脳喝倶楽部**

【ポスターセッションで使用したポスター（一部）】